# 目次

- 1 健康経営宣言
- 2 | 健康経営で解決したい経営上の課題
- 3 推進体制
- 4 取組施策
- 5 取組の結果
- 6 取組の評価
- 7 主な取り組み

# 1 健康経営宣言



IHIビジネスサポートは、「人が資産の会社、一人ひとりが主役」という経営理念のもと、従業員の健康を大切にした経営に積極的に取り組んでいます。

私たちは、従業員の健康増進と組織活性化のための施策に積極的に取り組み、 従業員のワークライフバランスを重視し、仕事とプライベートの調和を図っています。 従業員が健康で、満足度が高く、働きやすい職場環境を作ることは、 従業員の生活全体の質を向上させることにつながります。 私たちは、従業員の健康と幸福度の向上を重要な経営課題として位置づけ、 従業員一人ひとりがウェルビーイングな状態となることを目指し、 今後もさらなる取り組みを進めてまいります。

これらの取り組みにより、経験豊富で高度な専門性を持った人財を通じて、 お客さまからの信頼に応え、シェアードサービス会社として、 IHIグループおよび社会の発展に貢献してまいります。

代表取締役社長 石原 慎二

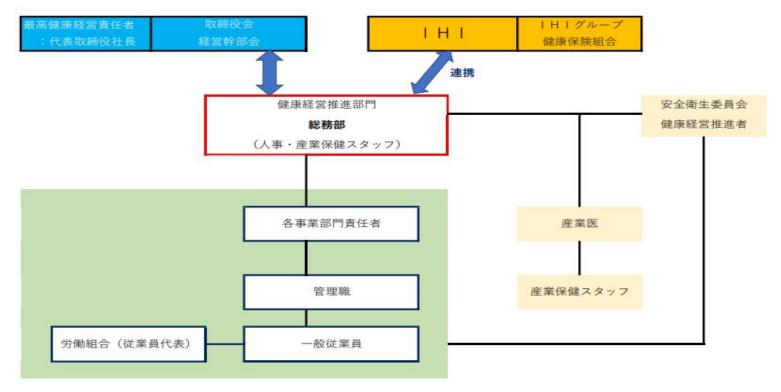
# 2 | 健康経営で解決したい経営上の課題

『優れた技術とサービスを通じて社会に貢献する』『人が資産の会社、一人ひとりが主役』を経営理念に掲げております。 理念の実現のためには、安全・安心な事業・サービスの提供し、新たな仕事の開拓や仕事の変革に取り組み、 持続的に成長し続けられ、多様な人材が尊重され、健康で生き生きと自らの能力を十分発揮できる「魅力ある会社」と なることを目指しています。

- 1) 多様な人材が活躍できる環境があり、仕事を通じた達成感を得られる組織風土の醸成やエンゲージメント向上が課題であります。
- 2)従業員一人一人が心身ともに健康となるよう自ら考え行動するヘルスリテラシーを向上させ、幸せを高めるWell-Beingな状態にしていくことが課題であります。

# 3 推進体制

- 総務部の人事担当と産業保健スタッフが、健康経営推進者である各事業部門責任者と連携しながら 健康経営に取り組んでいます。
- 経営幹部会や取締役会の場で、健康課題や取組施策の効果を議論しながら、めざす姿の実現を目指します。
- 経営トップは、健康経営への取り組みを率先しており、健康経営を組織の文化として定着させるために、 組織内での意識改革や風土づくりを推進します。



# ■ 実施している主な健康会議

名称	開催頻度	主な出席者	内容
経営幹部との健康協議会 (取締役会・幹部会)	年12回以上	社長,取締役 人事部長,保健師	会社全体の取り組み方針 健康施策に関する協議・ 実施評価に関する意見交換
全社経営会議	年1回	社長, 取締役 全管理職, 保健師	会社全体の取り組み方針
全社部課長会	年12回	社長,取締役 全管理職,保健師	会社全体の取り組み方針 健康施策に関する状況確認
事業所長会議	年4回	社長, 取締役 各事業所長	各事業所の健康施策状況の確認
労使安全衛生委員会	年2回	社長,取締役 事業部長,事業所長, 安全管理職,労使代表,保健師	会社全体の取り組み方針 健康施策に関する協議・ 実施評価に関する意見交換
健保との協議	年1回	取締役, 保健師 健保担当者	健康施策に関する協議・ 実施評価に関する意見交換

# 4 取組施策

# IHIBS健康経営ビジョン

#### ◆経営理念

『優れた技術とサービスを通じて社会に貢献する。』『人が資産の会社、一人ひとりが主役。』

#### ◆IHIビジネスサポートのビジョン

IHIグループのシェアードサービス会社として、より安全・安心で高品質な事業・サービスを提供し、常に成長を続け、IHIグループの発展と「IHIグループビジョン」の実現に貢献する企業となる

#### ◆2024 経営方針

基本方針:「攻め」の姿勢で仕事の変革し、さらなる成長を手に入れよう

変革施策:「業績の成長:新たな仕事(お客様を増やす, 未開分野開拓)」

「業務効率の成長:仕事の仕組み(DXを推進する,全体最適化)」

「人・組織の成長:魅力ある会社(個の力を伸ばす,働き続けたい職場)」

#### ◆2024年度 安全衛生管理重点課題

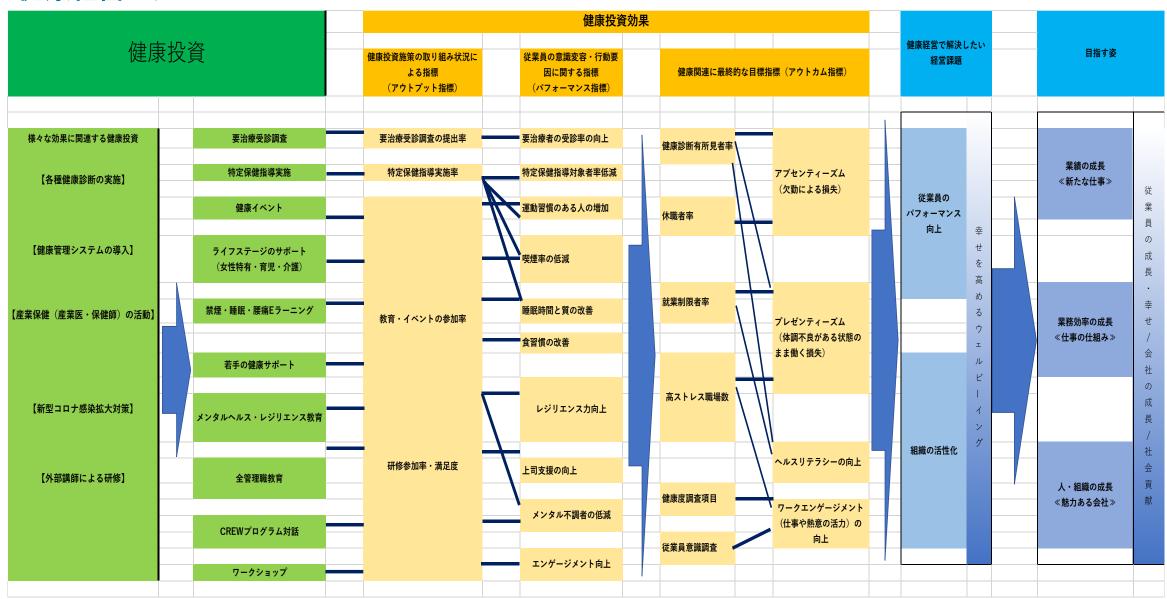
**基本方針**:健康経営を推進し,従業員の健康度の向上,職場の活性化を取り組み,心身ともに健康でいきいきと働くことができる「魅力ある会社」の実現を目指す。

重点課題:(1)個人と組織の活力向上

(2)環境変化に伴う心身の不調に速やかに対応できる整備

健康目標:有所見者の低減(KPI:前年比1%減),従業員意識調査エンゲージメント(KPI:肯定回答率前年比1%改善)

# ■ 健康経営マップ



# 5 取組の結果

# 1. 健康経営KPIアウトカム指標

項目	KPI	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
健康診断有所見者率	前年比1%減	79.9%	78.9%	80.6%	79.4%
アブセンティズム (3か月以上休業の一人あたり日数)	設定なし	2.6日	2.4日	2.7日	2.2日
プレゼンティズム(就業制限者数)	設定なし	2.0%	1.5%	1.3%	0.8%
プレゼンティズム (損出:SPQ東大式1項目)	前年比1%減	_	_	_	19.3%
従業員エンゲージメント (コーン・フェリー・ジャパン株式会社)	前年比1%増	56%	54%	55%	55%
高いストレス職場 (総合健康リスク120以上)	ゼロ	4職場	4職場	7職場	0職場

※すべての調査対象は全従業員、回答100%である。

# 2. 健康に関する指標

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
定期健康診断受診率	100%	100%	100%	100%
特定保健指導実施率	91.7%	98.5%	100%	100%
ストレスチェック受診率	93.3%	93.3%	95.1%	95.1%
要治療者の受診率(ハイリスク者含む)	93.1 %	93.1%	95.7%	98.7%
喫煙率	25.2%	23%	22%	22%
運動習慣比率(1週間2回, 30分以上の運動)	33.1%	29.3%	29.5%	31.0%
睡眠により十分な休養が取れている割合	-	58.2%	64.0%	61.0%
朝食欠食率(週3回以上)	-	18.6 %	19.9%	20.0%

## 3. ワーク・ライフバランスに関する指標

- 労働時間適正管理に関するグループ方針を定めています。
- 労働時間管理や長時間勤務による健康障害防止のための対策を徹底しています。
- 年間平均年休取得日数 16 日以上を目指し、悠々連休(土日加え連続2日以上)の取得も推奨しています。
- 配偶者出産後1年以内の男性の育児休業や育児休暇の取得を推進しています。
- ボランティア活動, 子の育児・看護, 介護, 不妊治療, 臓器移植, 妊娠健診やつわりに本人及び配偶者, 感染症やその予防, 地震災害の被災等の理由で有給特別年休の制度があります。

項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
時間外労働時間(平均時間)	13.3H	16.6H	15.0H	16.0H
年次休暇取得日数(平均日数)	16.3日	20.9日	18.0日	18.0日
離職率(正社員)	2.0%	1.9%	2.2%	1.7%

# 6 取組の評価

■ 運動促進の取り組みにて「スポーツエールカンパニー」「東京都スポーツ推進企業」の認定をされました。



スポーツエールカンパニー



東京都スポーツ推進企業

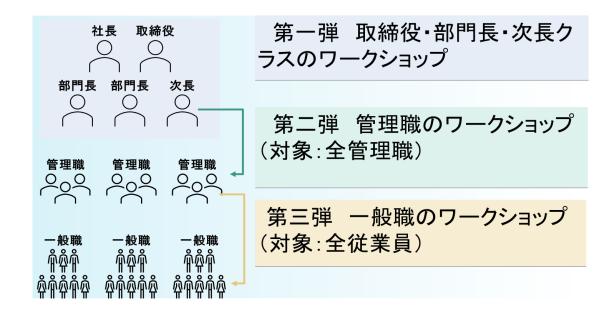


\* 関連URL: 東京都スポーツ推進企業交流サイト https://www.sportscompany.metro.tokyo.lg.jp/com/2371/

# 7 主な取り組み

当社は人材を大切にし、人材を絶え間なく育成すること、そしてD&I(ダイバーシティ&インクルージョン)を推進し、 年齢・性別に関係なく社員の活躍のフィールドを拡大していくこで、ウェルビーイングを高める生活の実現のため、 各種取り組みを行っています。

一人ひとりの Will(想い)を引き出し 各階層で共感したも のをバトンでつなぎ 目標達成の意識・風 土の醸成



## 1. 安全に関する取り組み

「安全五原則」に基づく自主的な安全衛生活動を推進することを基本理念として、労働災害の防止を図るとともに労働者の健康の増進 および快適な職場環境の形成の促進を図り、事業場における安全衛生水準を継続的に向上させるより取り組んでいます。

- 【安全五原則】 一 安全はすべてに優先する 一 危険な作業はしない させない
  - ー 災害要因の先取り ー ルールを守る

- 一 自ら努力する
- ≪厚生労働省のSAFEコンソーシアム加盟≫あんぜんプロジェクトメンバー 株式会社 IHIビジネスサポート (mhlw.go.jp)

## 安全衛生大会

毎年4月に経営幹部や全管理職が集まり「安全衛生大会」を開催して、 「年度安全衛生・健康管理重点課題」「安全衛生管理トピックス」を報告し、 全地区の関係者に年度の安全衛生活動の周知・徹底。また出席者全員 で無事故・無災害を誓った「安全官言」を行います。

## | 安全衛生パトロール・安全グループ長会議

安全衛生パトロールを実施して、各部門の安全衛生活動の取り組み状況につい て点検し、是正する継続的な改善活動を行い、 職場の安全文化の醸成を行って います。

- 全社安全グループ長会議(12回/年)
- 全社安全衛生パトロール(前年度災害発生地区)
- ・地区安全衛生パトロール(全地区で開催)



作業名	作業状況	危険要因	対 策
#10		ガスポンベはチェーン2本 で支えること	
# Î0		ライフジャケットの着用お よび浮輪の設置がされて いる	_
# <b>2</b> 0		扇風機のカバーが変形し ているため、指が中に入 り、けがをするおそれがあ る	
#30		KYボードの記載内容が予 め記入されている。今後 は作業員全員で実施でき ると更に良い	-
#40	-	ヘルメットの部門名称 シールが剥がれていた り、貼られていないものが ある	( Dans

# 安全文化の醸成

# 安全教育

- ・階層別の安全教育やKY研修、リスクアセスメント研修などの社内安全教育
- ・経験の浅いメンバーへのRA教育の実施
- •酸素欠乏症等 特別教育実施
- •VRを活用した災害疑似体験にて、危険感受性を高める取組
- 請負業者向けの安全衛生教育





## 安全ワークショップ

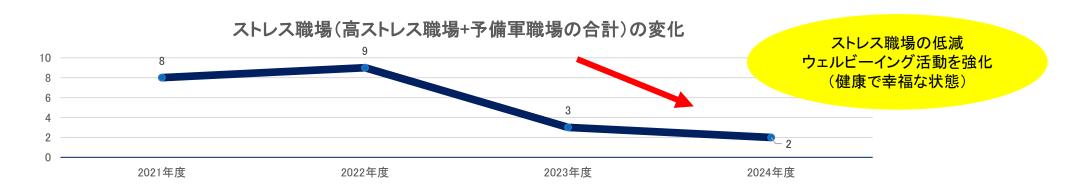
ブラッドリーカーブの「相互啓発型」安全文化の構築をめざし、経営幹部や部門長が自ら対話活動・声掛けにて推進し、安全衛生活動を自分事として取り組み、従業員の全員参加による安全に関する対話活動を行い、全社一丸となって意識変革に取り組んでいます。

### 全事故災害件数(統計外含む)分類

	統計	災害		統計外					
年度	休業	不休	軽微傷	熱中症	物損	通災	休業	不休	合計
	rivat	1 61	TI 190 190	W. 1 XII	事故	~E/\	(業者)	(業者)	
2023FY	0	1	3	0	8	2	0	0	14
2022FY	0	0	1	1	6	3	3	1	15
2021FY	1	2	4	0	13	3	1	2	26

# 2. 職場活性化に関する取り組み

働き続けたい魅力ある職場の実現を目指し、ウェルビーイング活動に取り組んでいます。



	2021年度		2022年度		2023年度	2024年度
管理職 対応	2023. 3 全管理職 メンタルヘルス教育		2022.9 全管理職 レジリエンス教育	エン 2024	3.6 全管理職 ゲージメント教育 1.1全管理職 ルビーイング教育	2024.9 部門の管理職 結果についての意見交換
経営		プロジェク	'-Change		鬼	力ある会社
方針	・2年連続高ストレ ※2020年度2年連	ス職場ゼロ <mark>続高ストレス4職場</mark>	<ul><li>ウェルビーイング活動, メンタルヘルス対策強化</li><li>"Next 10 years"</li></ul>		を伸ばす き続けたい会社	・ひとり一人のキャリア目標の実現 ・自由に言い合える組織風土 ・自主性や専門性を高める教育
組織	グルーバルエンゲ	ージメントサーベイ(4	毎年10月実施)			
開発	エンゲージメント改	善 (課題:低減:あきら	め社員 , 増加:活躍社員)			

# 職場ストレスチェック

部門別の職場ストレス結果から、

職場のストレスの軽減やメンバーの成長の支援について部門管理職同士で協議しています。

項目	2021年度	2022度	2023度
IHIBS 健康リスク(総合) (全国平均100)	83.3	83.0	79.0
健康リスク(総合)120以上職場	4職場	7職場	0職場

# 管理職教育

ウェルビーイングを高める取り組みとして、エンゲージメントやレジリエンスなどの管理職教育を行っています。

## 2023年度実績内容

内容	満足度	内容
レジリエンス教育(費用:¥275,000)	69%	4週間のアクションプラン実行によりレジリエンス力が0.13UPした。
エンゲージメント教育(費用:¥150,000)	92%	職場のエンゲージを高めるための意見 「職場の会話を増やす」「精神的支えを意識する」 「定例会を充実するなど各人の取り組みを意識した」
ウェルビーイング教育(費用:¥400,000)	98%	幸福学(社員と社会を幸福にする経営)の学びで、ウェルビーイングを高めるヒントを得た。

# CREWプログラムによる職場対話

お互いを知るためのCREWプログラムによる(職場対話)を重ねて, 職場環境改善を図り, 2023年度の高ストレス職場が改善しました。

### CREWプログラムとは,

Civility(礼節、丁寧さ), Respect(敬意), and Engagement(エンゲイジメント=いきいき!) in the Workplace(職場) 「CREW」の略で、"お互いを知るための対話"="CREWセッション"を積み重ねていくプログラムです。

## CREW対話の効果(2023年度の実績)

調査項目	2022年 (実施前)	2023年 (実施後)	評価
•期待役割	3.2	3.7	0.5UP(改善)
・目的の共有	2.7	3.2	0.5UP(改善)
・職場改善の風土	2.9	3.1	0.2UP(改善)
•上司の支援	7.1	7.5	0.4UP(改善)
・同僚の支援	6.6	7.4	0.8UP(改善)

## 3. ヘルスリテラシーを高める取り組み

#### ■ 健康診断

- 健康診断の項目は、法定を上回る項目内容で実施しており,がん検診(PSA,乳がん,子宮がん)も無償で実施しています。
- 60歳以上の従業員は,所定労働時間,雇用期間にかかわらず全員受診しています。

#### ■ ハイリスク者の就業制限措置

健康診断でハイリスク者には、社内規定に基づき就業制限を設け、治療を徹底させます。(実績:100%受診)

#### ■ 要治療者の受診確認

受診月の翌月16日に受診確認を行い、完全実施するまで受診確認の体制があります。

#### ■ 若年層ハイリスク者へのサポート

 20~30代肥満者や有所見者に対し、健康意識の向上と若年層で生活習慣病の発症や進行の抑制のため、 栄養士によるパーソナル指導を行っている。

#### ■ 人間ドック補助手当

自ら受診した人間ドックについては、一部費用を健康保険組合と会社で負担している。

# ■ 健康セミナー

内容	満足度	内容
女性教育	2021年90% 2022年98% 2023年90%	2021年:女性のみ 173名受講 2022年:全従業員1207名受講 2023年:全従業員へ産婦人科医による動画教育
栄養セミナー (費用:¥300,000)	_	対象:10~30代従業員 若手朝食欠食率36%であるため、朝食によるパフォーマンス向上の意義や 具体的な食事のメニューを学習した。
血圧改善セミナー	92%	高血圧の有所見が多く,健康リスクも高いため, 高血圧に関する産業医の講義と健康対話を行った。
栄養士による熱中症教育	84%	教育後の受講後アンケート 「1日の摂取する水分量に食事も含まれることを知って、 具体的に不足量が想像ついた」、 「日ごろ水分量がたりない」、 「熱中症は割と軽く考えていましたが、 命を脅かす危険な事態だと再確認できた。」

### ■健康ポータルサイト

健康保険組合からの提供で 健康ポータルサイト「Pep Up(ペップアップ)」の利用ができ、 健康状態を視覚化や健康イベントや記録機能の活用で 行動変容の機会を増やしました。

年度	加入者数	PepUp 登録者数	PepUp 登録率
2020	998	651	65.2%
2021	955	659	69.0%
2022	979	699	71.4%
2023	978	766	78.3%

### ■ Pep Upでできること

- 健診結果の確認
- 健康年齢の確認
- ・ 個人の合わせた健康情報の閲覧
- 日々の記録(記録機能・グラフ表示)
- 健康イベント参加でPep Upポイント獲得
- アクティブティへの参加
- 医療費やワクチン接種の記録

### ■運動促進の取り組み

春と秋の年に2回に、事業所対応のウォーキングイベントを実施している。5月は株式会社アールビーズ主催の「さつきラン&ウォーク企業対抗戦」に参加し、5月1カ月間の歩数を競うオンラインイベントに参加しています。

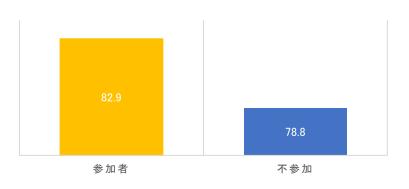
年度	参加人数	参加者の平均歩数	費用
2022年5月	376名	7768歩	¥ 175,000
2023年5月	480名	8096歩	¥175,000
2023年10月	461名	6954歩	

\* 関連URL

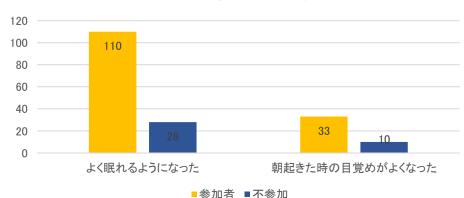
https://arbeee.net/topics/1011\_1

さつきラン&ウォーク企業対抗戦の参加によって、睡眠改善とパフォーマンス向上ができた。

パフォーマンス SPQ(東大式1項目版)で算出







## ■各拠点の自主的な運動促進

自主的な創意工夫により、各拠点で運動イベントを積極的に開催しています。(合計費用:¥504,000)



綱引き -丸の内本社-



外部トレーナーのよる腰痛や肩こり解消の体操教室













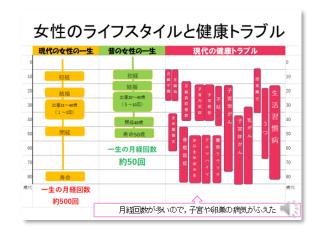
各拠点のウォーキング昼休み・定時後に開催

# 4. De & I (女性・育児・介護)に関する取り組み

#### ■ 女性特有の健康課題と従業員教育

2021年から毎年,女性特有の健康課題に関する従業員全員にE-ラーニングを行っています。

- 婦人科専門医の監修の動画教育
- にしたんARTクリニック様による不妊治療



#### ■ プレコンセプションケア

にしたんARTクリニック様のご支援により、 医療機関でのAHM検査(卵子検査)や不妊治療相談の利用サービスの提供を2023年より導入しました。

#### ■ 保健師による女性従業員との個別面談

顔が見える相談先として、保健師による対面面談を行っています。

実績:2023年 91名

## ■ 育児と仕事の両立ワークショップ

出産や育児をしながら、仕事の両立ができ、キャリアアップの機会も継続できるように、 育児中のワーママ、出産を控えたプレワーママ、それぞれの所属長をワークショップを行っています。 社内の先輩ママの両立を乗り越えた話を交えて、ネットワークづくりの工夫もしています。

### ■ 男性育児休業の促進

男性従業員の育休取得については、 利用内容の見える化や上司や職場の取得促進しやすい風土を推進しています。

## ■ IHIグループの両立支援ハンドブック

両立支援にむけたハンドブックの整備と教育を行っています。

- 育児休業者向け(キャリアと育児の両立)
- 男性従業員向け(仕事と育児の両立支援)
- 管理職向け(キャリアと育児の両立支援)

### ■ キャリア支援

キャリアについて、自身の未来設計図を描き、 上司が支援するCDP面談やキャリアドバイザーによる相談窓口設置などキャリア支援を行っています。

# 5. 安心感とリスク対応の取り組み

#### ■ 治療と仕事の両立支援

- 治療と仕事の両立支援とは、従業員が病気やケガで治療を必要とする場合でも、 主治医と産業医・保健師と上司・人事が連携しながら、仕事を続けられるように配慮し、 支援する取り組みを行っています。
- 療養や通院な必要な場合に利用できる社内制度があります。 「消滅年休の特別措置」、「時間単位年次休暇」、「勤務時間短縮措置」

### ■ 先端医療補償制度

• 高度な医療技術を用いる先進的な医療で治療を行なった際に, 会社が費用の一部負担ができる「先進医療補償制度」を2024年度に導入しました。 経済的負担を軽減できることで、安心して働ける環境を整えました。

### ■有資格者の技能訓練

セキュリティ部門では、専門性を高める技能訓練を定期的に行い、 安心・安全で快適なワークスペースを保つ環境を整えています。 2024年8月には施設内で人命を救助し、「消防総監感謝状」の授与を受けました。



消防総監感謝状



- 社内有資格者によるセキュリティ教育
- 受講者17名
- 救急発見の初動対応と AED操作の実施訓練



- 協議技能審査会
  - セキュリティ部門の専門性を高める

# 6. 働きやすい職場環境

## 職場環境

本社移転に伴い、働きやすい実現を目指し、職場代表でWGを発足し、働きやすいオフィスを検討しました。リフレッシュルームを設置や、リモート会議や業務効率のための個別作業ブースを設けました。





# ウェルネス活動

セキュリティー部署にマッサージチャアを設置,各拠点の事業 所では外部トレーナーによる運動教室が開催され,疲労回復を 促す取り組みを行っている。







# 7. サプライチェーンへの取り組み

事業推進の重要なパートナーであるサプライヤー様で働く従業員の皆さまの健康にも配慮した取り組みを進めています。

## サプライヤー様への取り組み支援

- 取引先を含めた職域接種の実施(インフルエンザ、新型コロナウイルス)
- 就業時間内・禁煙対策について、具体的な実施方法や施策を説明
- 取引先の従業員の皆さまにも健康イベントの参加を促す。
- 請負会社への安全衛生教育
- 請負会社の従業員への健康相談

## 8. 地域活動の取り組み

事業所近隣の皆さまの多様性を尊重し、 ヘルス&ウェルネス活動を通じて、 幸福度の高い社会の共生実現に貢献したいと考えています。

### 地域のヘルス&ウェルネス活動

- パラスポーツ「ボッチャ」体験会開催と地域交流会の参加
- 各拠点で献血会場やワクチン集団接種会場の積極的提供と運営協力
- 地域イベントの熱中症予防の飲料提供や救急・救命支援
- 地域スポーツイベントの積極的な参加
- 事業所近隣地域でのエンジョイプロギング実施



本社:丸の内エンジョイプロギング



### ■社会貢献活動

当社では地域の健康イベントやフェアに積極的に参加しています。 また、各拠点の事業所イベントは、飲食の供給や警備などシャアードサービス会社として参画しながら グループ会社や地域の活性化に貢献しています。



本社:丸の内綱引き大会



相馬:野馬追



相生:ペーロン大会





